

令和5年度（生涯学習課）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	勤務時間外でも公務員に期待される高いモラルと責任感を保持	・職場研修等で、神奈川県職員行動指針の確認を行うとともに、不祥事防止点検シート等を活用することで、勤務時間外を含めて公務員として自覚を持った行動を心がける効果があった。
②職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	相手の人格を尊重した行動の徹底	・ハラスメント根絶に向けた資料を用いた職場研修を行うとともに、「『自分ごと』として考える人権」をテーマに人権研修を行うことで、人権感覚の意識向上を図った。
③個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	重要情報の漏洩、遺失防止のため、適切な情報管理を徹底	・個人情報の適切な取扱いに係る職場研修等を行うとともに、日常業務においてもファクシミリ送信時における複数人での宛先確認、庁内メール・電子メール送信時のCC/BC機能を活用した複数職員による送信内容のチェック等の徹底により、情報漏洩等事故の防止に努めた。
④交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規遵守及び交通安全の徹底	・職場研修等で、飲酒運転の根絶に係る資料等を用いるとともに、年末年始等連休前の朝礼等において、飲酒運転や交通事故防止への意識向上を促した。
⑤業務執行体制の確保等	相互チェック体制、業務協力体制の確立	・グループウェア機能の活用等により、各職員の業務進捗状況やスケジュール管理等の情報を共有することで、業務上のミス防止や負担軽減に役立てる等、業務協力体制の確保に努めた。
	明るく風通しの良い職場作り	・グループ毎の朝ミーティング等で各員のスケジュールや業務の進行状況を確認し合うことで課題等の共有化を図り、一人で抱え込まない、風通しの良い職場作りを目指した。
⑥財務事務等の適正執行	財務事務等の適正執行	・会計局等からの各種通知の回覧や職場研修を通して、執行管理等について複数人での相互チェックの徹底を改めて周知するなど、経理等事務の適正執行に努めた。
	県会計以外の財務事務等の適正執行	・課内で事務局を担っている2団体の会計帳簿等の検査を実施し、必要に応じて是正指導等を行っている。（令和5年度は3月13日、15日に検査実施）

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(所属長意見)

令和5年度の不祥事防止ゼロプログラムの各項目について、目標を達成することができた。

今年度の研修は、異動後速やかに実施することにより、より実践的な研修を行い、具体的には、「①課題」では、副課長が「窓口対応について」をテーマとして、法令順守を意識した、実務における対応や心構えについて質疑応答を交えながら講義を行うことで課員の理解が深まった。また、「⑤業務執行体制の確保等」の「明るく風通しのよい職場作り」については、議論の場として職員同士が率直に意見交換を行うことで、どのような職場づくりが求められているのか明示された。

令和6年度は、引き続き年度の早い時期に実施し、各業務において事故や不適切な事案が発生しないよう、課内のコミュニケーションを欠かさないようにしていきたい。